

平成 27 年度第 2 回トータルヘルスケアワークショップとフィールドワークを開催しました

平成 28 年 3 月 16 日（水）から 18 日（金）まで、平成 27 年度第 2 回トータルヘルスケアワークショップとフィールドワークを開催しました。

この会では、私たちオール新潟による次世代医療人の養成プログラムのメインテーマである、口腔ケア、地域医療、多職種連携について、ワークショップやレクチャーで深く掘り下げ、その実際をフィールドワークで体験実習しています。

今回は新潟大学医学部医学科、歯学部口腔生命福祉学科、新潟薬科大学薬学部薬学科など、多職種の学生 12 名が参加してくれました。



3 月 16 日のワークショップでは、アイスブレーキングの後、歯科の黒川亮先生から「口腔ケアの重要性」のタイトルで、心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病など、多くの疾患に口腔病変が関連しているなどの話がありました。そして、歯科衛生士の田中、中井も加わり、口腔ケアの実際として、口腔内の観察、ブラッシングなどの口腔ケアの手技をカメラで実際に写しながら実演し、学生同士でも手技を体験しました。



つぎに「口腔ケアを通して考える超高齢社会の課題」について、KJ法を用いて課題の抽出を行いました。各班とも、口腔ケアを行う担い手不足、口腔ケアの重要性の認識不足、口腔ケアを必要とする患者の増加など、様々な視点から問題点を抽出していました。午後からは、黒川允先生から誤嚥性肺炎の予防について、鈴木翼先生からソーシャルキャピタルについて、ミニレクチャーをしてもらいました。その後、KJ法で抽出した課題をもとに、翌日のフィールドワークの目標について一般目標と行動目標をたててもらいました。



2日目は、胎内市の有松歯科医院・中条愛広苑、阿賀町の県立津川病院・東蒲の里、柏崎市の柏崎総合医療センター、上越市の牧診療所・沖見の里の4地区に分かれて、口腔ケアをテーマにフィールドワークを行いました。

各班とも口腔ケアについてのレクチャーを受けたり、嚥下体操を一緒に実演したり、食事介助を間近で見学させていただいたり、有意義な体験実習を行うことができました。また、上越チームには、歯学部には交換留学生としてきているカナダ・ブリティッシュコロンビア大学の歯学生二人も参加し、日本の地域における口腔ケアの現況を体験実習してもらいました。



3日目は、「フィールドワーク体験共有」として、前日のフィールドワークで実際の医療現場で行われていた口腔ケアの様子や、実際に体験実習した内容、そこからどのようなことを考えたかなどを、プレゼンテーションして、2日目の各班の体験を共有しました。



その後、3日間の感想をレポートにまとめてもらいました、最後に参加した学生に修了証が渡され、終了しました。



今回も多職種を目指す学生に参加していただき、学生達のモチベーションも高く、非常に活気のある密度の濃いワークショップとフィールドワークとなりました。